

2025年度

北海道新幹線情報



整備新幹線の建設費増と町負担の見通しについて

北海道新幹線新函館北斗～札幌間の建設費が令和5年度の認可時2兆3,159億円から、約1兆2,000億円増える可能性が指摘されています。

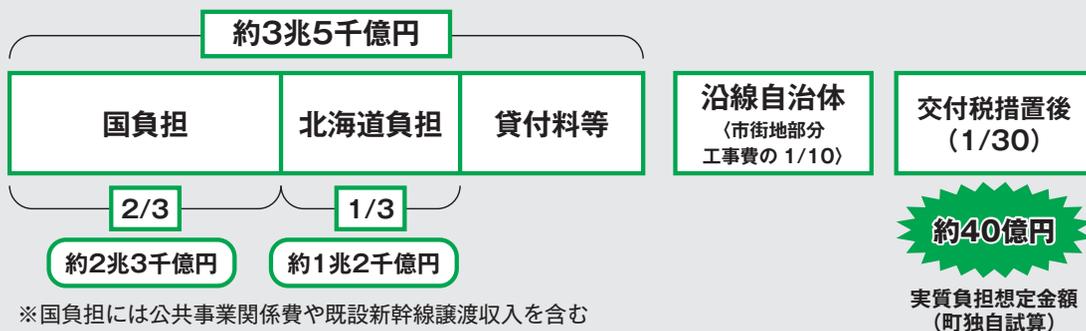
費用は国が3分の2、北海道が3分の1を負担し、そのうち長万部町は都市計画用途区域（市街地）工事費の10分の1を負担する仕組みとなっています。（実質は市街地工事費の30分の1）

しかし、この制度は都市部向けに設計された面があるため、沿線自治体と比較し市街地工事が多く、年間予算60～70億円規模の長万部町では極めて重い負担となります。

町の負担は、町の独自想定で従来試算の約25億円（実質負担想定約7～11億円※）から約40億円（同 約10～18億円）へ増える可能性があります。

これは同規模自治体では例のない割合です。町ではこうした状況を踏まえ、国に対して負担軽減を要望しています。国・北海道から正式な説明が示され次第、改めて皆様へお知らせします。

※整備新幹線建設負担金は、地方債の交付税措置により実質の負担は減少する見込となっております。なお、交付税措置率は50%～70%の間で国が決定します



〈有料広告〉

補聴器聞こえ相談会

～ご自宅で試聴体験サービス～

■相談ダイヤル ☎0120-41-3375 ■障害者総合支援法補聴器取扱店

(有)赤塚商会 長万部町元町 ☎01377-2-2603

道南補聴器センター函館本店

函館市神山1丁目11-2

Tel 0138-84-1313 Fax0138-84-1413